

2026年3月4日

PRESS RELEASE

データセクション株式会社

慶應義塾大学とデータセクション、AI 社会実装に向けた産学連携拠点「DSAI STAR Labo」

3月3日（火）始動

— 持続可能な未来のための AI の設計へ —

AI インフラ事業を展開するデータセクション株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長執行役員 CEO：石原 紀彦、以下「データセクション」）は、2026年3月3日（火）、慶應義塾大学の三田北別館にて、「Keio STAR」との連携による新拠点「DSAI STAR Labo（ディーエスエーアイ・スター・ラボ）」の設立記念セレモニーを開催いたしました。

本ラボでは、AI ガバナンス、エネルギー効率化、セキュリティ設計、公共政策との接続などを重点研究領域とし、研究成果の社会実装までを見据えた実証型プロジェクトを展開します。データセクションの大規模 GPU インフラを基盤とする AI 実装環境と、慶應義塾大学の研究知見を融合し、技術・制度・持続可能性を横断する統合的な研究を推進してまいります。



当日の会場の様子

「DSAI STAR Labo」の設立背景と展望について

開会にあたり、慶應義塾の伊藤公平塾長より、アカデミアの視点から「AI と持続可能性に関するビジョン」が提示されました。

続いて、当社代表の石原紀彦が登壇し、グローバル市場を見据えたデータセクションと慶應義塾の提携背景を語るとともに、「DSAI STAR Labo」が担う次世代 AI 社会のミッションを表明しました。

石原代表は、「知能 (AI) を社会の基盤へ」と今後の展望を述べるとともに、すでに始まっている AI 時代において、持続可能な AI インフラ構築の重要性を示し、日本企業がグローバルで存在感を再び高めるための重点領域について説明しました。



講演する石原代表

基調講演：元デンマーク首相、元 NATO 事務総長 Anders Fogh Rasmussen 氏

本イベントのハイライトとして、元デンマーク首相、元 NATO 事務総長、ラスムセン・グローバル代表 Anders Fogh Rasmussen 氏が登壇。「未来を所有するのは誰か？ (Who owns the future?)」をテーマに基調講演を実施。同氏は、「技術だけで未来を手に入れられるわけではない。重要なのは、誰が最も速く、最大規模のモデルと高度な計算能力、そして産業基盤を所有し制御できるかだ」と述べました。そのうえで、民主主義が団結し、イノベーションをもって行動することの重要性を強調しました。



講演する Anders Fogh Rasmussen 氏

パネルディスカッション：AI とサステナビリティ（持続可能性）の結びつきについて

後半のセッションでは、Yu Xiong 教授（サリー大学）、古谷知之教授（慶應義塾大学）、南澤孝太氏（慶應義塾大学）が登壇し、蟹江憲史教授（慶應義塾大学）がモデレーターを担当。AI がビジネスや環境保護にもたらす「経済・環境面でのサステナビリティ」と、人間の能力や経験を拡張する「人間中心のサステナビリティ」の両面で議論が展開されました。AI によって生み出される無駄の削減や環境保護の貢献、身体機能の拡張などのメリットや、消費エネルギーの問題など超えるべき課題について、多角的な観点から活発な意見交換が行われました。

今後の展望について

16 時に開幕した本イベントは、国内外の有識者による全プログラムを終え、閉会しました。閉会挨拶では、データセクション取締役会長の Pablo Casado Blanco が登壇。国際的な政策経験を踏まえ、新拠点の世界に与えるインパクトへの期待と感謝を述べ、イベントを締めくくりました。



DSAI STAR Labo 設立記念セレモニーに登壇した関係者

後列左より古谷知之教授、伊藤公平慶應義塾塾長、蟹江憲史教授、南澤孝太教授、
前列左より Yu Xiong 教授、Pablo Casado Blanco 取締役会長、Anders Fogh Rasmussen 氏、
石原紀彦代表取締役社長執行役員 CEO

以上

※記載されている会社名及び商品・サービス名は、各社の登録商標又は商標です。
※本プレスリリースに掲載されている内容は、発表時点の情報です。

報道関係者様お問合せ先

データセクション株式会社 グループ経営企画部

050-3649-4858 bm-cp@datasection.co.jp